

第4章

産業・観光

～地域資源を活かした活力ある産業のまち～

基本施策

21	多様な働く場の確保	130
22	企業立地の推進	134
23	商工業の振興	136
24	農林水産業の推進	138
25	観光・交流の振興	142



基本施策

21

多様な働く場の確保

あるべき姿

国、県、経済団体等と連携し、雇用の確保や就業支援に取り組むことにより、若者などの地元定着が進んでいます。また、ターゲットを細かく設定した面接会の開催等を通じて、雇用におけるミスマッチの解消が図られています。

現状と課題

- 有効求人倍率は高い水準で推移していますが、雇用面で、求人と求職のミスマッチが生じています。
- 高校生や大学生など、若者の市内就職率が高くありません。
- 雇用能力開発支援センターは、老朽化が著しい一方で稼働率が高く、施設の在り方について改めて検討が必要です。
- 勤労者福祉の拠点となる労働会館は、築年数の経過に伴い老朽化が進んでいます。

4年間の目標

- 雇用におけるミスマッチの解消に向けた、業種・業態や参加者属性等を工夫した就業支援の実施
- 市内の高校や大学を対象とした、市内企業を知ってもらう機会の創出
- 雇用能力開発支援センターの利用状況を踏まえた施設の方向性検討
- 労働会館の適切な維持管理

目標指標

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
有効求人倍率(年度平均)	宇部公共職業安定所管内	1.54倍	1.50倍
市内の高校・大学からの市内就職率	市内高校・大学からの就職者のうち、市内企業に就職した割合	9.2%	20.0%

基 本 事 業

(1) 就業対策の充実

地域職業相談室による求職相談や、業種・テーマごとの就職面接会の開催など、国や県と連携しながら若者、女性、高齢者、障がい者等の就業支援や雇用のミスマッチ解消を推進します。また、企業訪問による意見交換等を通じて、企業からの市内雇用ニーズの把握に努め、若者をはじめとする求職者の市内定着を図ります。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
市就職説明会・面接会への参加者数	市内事業者を対象に実施する面接会等への年間参加者数	56人	60人
市内事業所との意見交換回数	市内事業所と意見交換などを実施した回数(年間)	118回	150回

主要事業

■ 就業対策推進事業

■ 雇用創出事業

(2) 職業能力の開発向上

時代のニーズに対応できるよう、雇用能力開発支援センターの活用を通じて、就業希望者や就業者のスキルアップを支援します。また、施設の適正な管理・運営に努めます。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
雇用能力開発支援センターの利用者数	雇用能力開発支援センターで実施される講習等の年間受講者数	17,465人	18,000人

主要事業

■ 職業能力開発事業

(3) 勤労者福祉の推進

中小企業の勤労者に対する共済制度や金融制度の円滑な実施に取り組むとともに、必要に応じて制度の普及・拡大を図ります。また、勤労福祉施設については、適正な管理・運営に努めます。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
中小企業退職金共済制度 に加入している事業主	—	73 社	85 社

主要
事業

■ 勤労者福祉推進事業



会社説明会・面接会

基本施策

22

企業立地の推進

あるべき姿

小野田・楠企業団地の全区画において企業進出が実現しており、未利用地の発掘やスモールオフィス^{*}に適した業種をターゲットとした企業誘致の推進など、継続的な誘致活動に取り組むことに加え、定期的な企業訪問を実施し、市内企業の事業拡大支援にも努めています。さらには、市内企業と山口東京理科大学がより連携を深め、新商品・新技術の開発はもとより、人材育成や事業活動における課題解決など幅広い協力体制が構築されています。

現状と課題

- 小野田・楠企業団地について、残り一区画が未進出となっています。
- 小野田・楠企業団地完売後の企業誘致の在り方について検討が必要です。
- 企業団地内の市が管理する施設等の維持管理費が増加傾向にあり、今後における適正管理に懸念があります。
- 市内企業と山口東京理科大学が連携しやすい環境の構築が期待されます。

4年間の目標

- 県と連携した小野田・楠企業団地への誘致活動の継続
- 未利用地の発掘やスモールオフィス^{*}に適した業種をターゲットにした企業誘致の推進
- 既存施設の管理・更新に係る方針の検討
- 産学官連携の取組強化

目標指標

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
企業の立地件数	市内への年間企業誘致件数(市内企業、市外企業)	3件	3件
製造品出荷額 (経済構造実態調査)	従業員4人以上の事業所 (年間)	10,755億円	11,000億円

基 本 事 業

(1) 企業誘致の推進

優れた立地環境や優遇制度を対外的に PR するとともに、企業団地内施設の適正な維持管理を実施し、残り1区画となった小野田・楠企業団地への誘致活動を進めます。あわせて、既存企業における事業拡大を支援し、雇用の場の創出と産業の活性化を図ります。また、企業団地完売後を見据えて新たな企業誘致の方向性を定め、継続的な誘致活動を推進します。

【評価指標】

指標	説明	現状値	目標値 (令和11年度)
小野田・楠企業団地分譲率	分譲済面積÷事業用地面積×100	(令和7年度) 94.5%	100%
工場設置奨励条例奨励金 交付件数	年間の交付件数	(令和6年度) 11件	11件

主要事業

■ 企業誘致推進事業

(2) 産学官連携の推進

市内企業、山口東京理科大学、商工会議所と連携を強化し、新しい産業・技術の創出に向けた環境の整備に取り組み、地域経済の活性化を目指します。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
企業の山口東京理科大学 への技術相談件数	技術説明会・研究室公開の実施等による問合せ件数・相談件数(年間)	42件	60件

主要事業

■ 産学公連携推進事業

基本施策

23

商工業の振興

あるべき姿

起業しやすい環境を整備することで創業を志す方が集まりやすくなっており、JR駅周辺の商店街や大型商業施設周辺などを中心に商業集積を促進し、店舗等が立地することにより、賑わいが生まれるようなまちを形成しています。また、中小企業振興基本条例に沿った事業を実施することによって、市内の中小企業者が、中小企業を取り巻く経営環境の変化に対応し、事業を継続することができる環境を構築しています。

現状と課題

- 駅前商店街や中心市街地などでは、店舗等が減少傾向にあり、まちの賑わいが減少しています。
- 物価高騰や関税問題など、中小企業を取り巻く社会・経済情勢は不安定であり、中小企業者の事業継続への影響が懸念されます。

4年間の目標

- 創業支援の充実及び商店街や中心市街地を対象とした商業集積の促進
- 中小企業の活性化を支援する施策検討

目標指標

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
市内事業所数	法人市民税均等割課税事業所数	1,376 社	1,400 社
駅前商店街の営業店舗数 (商店街現況調査)	商店街現況調査	103 店舗	110 店舗

基 本 事 業

(1) 商業振興支援の充実

中心市街地や既存商店街等を対象とした商業集積の促進により、市内経済の活力増進やまちの賑わい創出に努めます。また、創業支援や空き店舗等の有効活用、商業振興イベントの支援等を通じて、商業・商店街の振興を図ります。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
創業件数	創業支援等事業計画に基づく創業支援事業を受ける者(年間)	14 件	25 件

主要事業

■ 商業振興支援事業

■ 既存商店街振興事業

(2) 中小企業支援の充実

中小企業振興基本条例に基づき、中小企業者の経営体質の改善等に関する相談や制度融資による支援に取り組むことにより、中小企業の振興を図ります。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
中小企業振興資金等融資実績額	年間の融資実績額	9,600 万円	12,000 万円
中小企業相談所における相談・指導件数	年間の相談・指導件数	2,690 件	2,800 件

主要事業

■ 中小企業経営支援事業

関連する個別計画

- 山陽小野田市創業支援等事業計画（平成28年度～令和9年度）

基本施策

24

農林水産業の推進

あるべき姿

農林水産業全般を通じて生産基盤が整備され、担い手により食料が安定供給されており、国土の保全、水源のかん養等の多面的機能が十分に発揮されています。ICT*等の先端技術の活用により、経営が効率化され、農林水産業者の所得向上等を通じた農山漁村の振興が図られています。農林水産業が持続的に発展し、国民生活の安定向上・国民経済の健全な発展に寄与しています。

現状と課題

- 従事者の高齢化の進行等により担い手が不足し、農林水産業を維持していくことが困難です。
- 農林水産関連施設が老朽化しており、効率的な事業環境が損なわれ、生産性が低下しています。
- 生産コストの増加等により収益性が低下しています。

4年間の目標

- 担い手の確保・育成
- 施設の計画的な整備
- 農地の大区画化
- 農地の集約化
- 農作物の高付加価値化
- スマート農業*の推進

目標指標

指標	説明	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)
認定農業者数 (法人を含む。)	農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画を作成し、市の認定を受けた農業者数	59人	65人
経営管理権集積計画策定数	森林経営管理制度に基づき、市が作成した計画数	1件	5件
漁業経営体数	港勢調査による4漁港(刈屋、高泊、梶、埴生)の経営体数	41人	41人

基 本 事 業

(1) 経営体の育成・確保及び経営基盤の強化

農業・水産業においては募集から研修、就業、定着までの一貫した担い手支援策を構築し、県内外からの参入と就業後の定着を進めるとともに、林業・畜産業の振興に努めます。そのほか支援事業の充実など経営基盤の強化を図ります。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)
認定新規就農者数 (累計)	農業経営基盤強化促進法に基づく青年等就農計画を作成し、市の認定を受けた新規農業者数	16人	20人
新規漁業就業者数	新たに漁業に就業した者の数	0人	1人

主要事業

- 農業生産者支援事業
- 畜産業支援事業
- 新規就業者支援事業
- 農地利用適正化事業

(2) 生産基盤の整備

農業においては、ほ場の大区画化、用排水路や農道の整備を推進していくほか、基幹的水利施設の更新を計画的に進めていきます。林業においては林道や作業道の整備や多面的な機能を発揮するため森林の適正な管理に努めるとともに有害鳥獣対策を推進します。水産業においては安全性を向上し、働きやすい就労環境を実現するため漁港施設の整備を行います。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)
ほ場整備等の基盤整備進捗率(事業費ベース)	王喜東(埴生)地区、郡・川東地区	56.1%	100%
放流箇所数	宇部・小野田・山陽地域栽培漁業推進協議会による稚魚の放流	4か所	4か所

主要事業

- 土地改良事業
- 農業基盤整備事業
- 有害鳥獣対策事業
- 林業基盤整備事業
- 漁港整備事業

(3) 需要に応える生産力の強化

スマート農林水産業[※]の導入などにより、作業の省力化、効率化を図り、生産性の向上を目指します。また6次産業化[※]を推進することにより、高付加価値化を図り、農林水産業者の所得の向上を目指します。

【評価指標】

指標	説明	現状値	目標値 (令和11年度)
農林水産業者が補助事業を活用して導入したスマート農林水産業 [※] 設備・機器の件数(累計)	—	(令和6年度) 4件	9件
市内農産物を活用した6次産業化 [※] ・農商工連携における商品開発数(累計)	—	(令和7年度) 1個	5個

主要
事業



■ 地産地消推進事業

■ 農産物ブランド化推進事業

関連する個別計画

- 山陽小野田市農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想（令和5年度～）
- 山陽小野田市農業振興地域整備計画（令和3年度～）
- 山陽小野田市森林整備計画（令和2年度～令和11年度）



ほ場整備

第4章

産業・観光

く地域資源を活かした活力ある産業のまちく

基本施策

25

観光・交流の振興

あるべき姿

観光関連団体や様々な事業者、市民活動団体等と連携して、魅力的な観光ルートを提供しています。あわせて、積極的な情報発信、広域的な取組によって、交流人口が増加し、地域経済への波及効果が生じています。

現状と課題

- 観光旅行者の市内周遊が低調な状況です。
- 観光客数はコロナ禍以降、回復傾向にありますが、観光消費額が高くない状況です。

4年間の目標

- 魅力的な観光ルートづくり及び情報発信の実施
- 観光客の市内周遊性向上による滞在時間の長時間化
- 名産品等の購買額上昇

目標指標

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
本市への観光客数	年間の観光客数	1,095,413 人	1,250,000 人

基本事業

(1) 観光・交流資源の整備・充実

既存観光資源を活用して、魅力的な観光ルートづくりを進めます。また、観光交流拠点の整備、近隣市と連携した広域観光による誘客促進、観光客の市内周遊性の向上により、滞在時間を延ばすとともに、名産品を含めた観光消費額の増加を図ります。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
他団体と連携したツアーの実施回数	産業観光バスツアー・県央連携PT※等でのツアー実施年間合計回数	12回	15回
山陽小野田名産品※認定数	山陽小野田の名産品として認定された商品数	38品目	50品目

主要事業

- 観光交流資源整備事業
 - 山陽小野田名産品活用推進事業
- 広域観光振興事業
 -

(2) 情報発信・誘客体制の強化・充実

観光情報を分かりやすく積極的に発信し、市の魅力を知ってもらうとともに、観光客受入体制を充実させることにより観光客数の増加を図ります。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
山陽小野田観光協会のホームページ・SNS※(facebook・Instagram)のビュー数	年間ビュー数	1,103,141ビュー	1,200,000ビュー

主要事業

- 観光振興事業
 - 観光推進組織支援事業
- 外国人観光客誘致事業
 - 観光振興推進体制強化事業

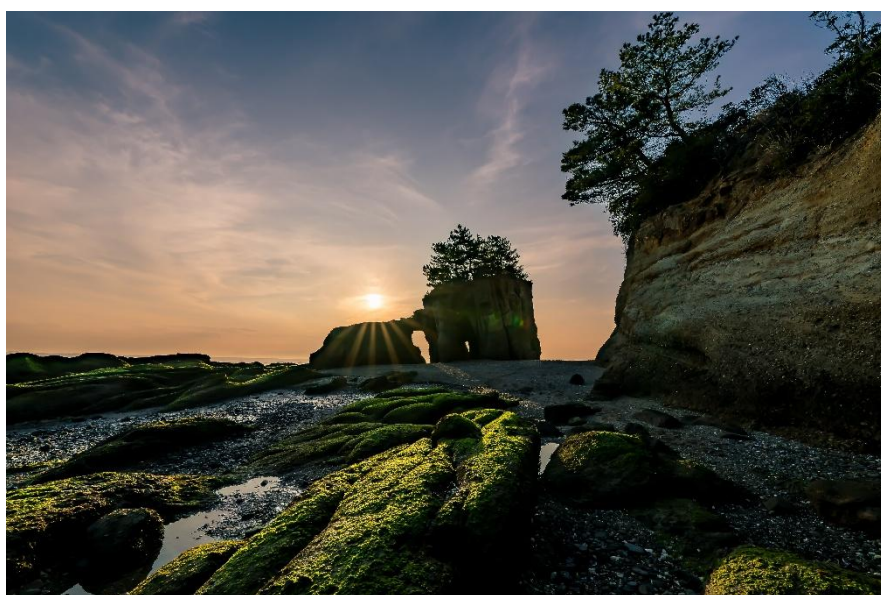
関連する個別計画

- 山陽小野田市観光振興プラン（令和元年度～）

第4章 産業・観光く地域資源を活かした活力ある産業のまち



スマイルコーストウォーク



本山岬公園「くぐり岩」